

報道関係者各位

2018年9月10日
森ビル株式会社

都市とライフスタイルの未来を議論する国際会議
Innovative City Forum 2018 開催
～“未来”が現実化するいま、我々は何を考えるべきか？～

森ビル株式会社が運営する森美術館(館長:南條史生)とアカデミーヒルズ(理事長:竹中平蔵)、および一般財団法人森記念財団都市戦略研究所(所長:竹中平蔵)は、都市とライフスタイルの未来を議論する国際会議「Innovative City Forum 2018」を、国際交流基金アジアセンター、MITメディアラボを共催者に迎え、2018年10月18日から20日までの3日間、六本木ヒルズで開催します。

Innovative City Forum(以下ICF)は、「都市とライフスタイルの未来を描く」をテーマに2013年から毎年開催している国際会議です。国内外の科学者、研究者、技術者、アーティスト、デザイナー、企業経営者、ジャーナリストなどを招聘し、科学技術の進展等による未来のライフスタイルや、その生活を支える都市の未来について過去5回にわたり議論を積み重ねてきました。過去の登壇者は総勢213名にのぼり、今年は60名超が登壇します。

6回目となる今年は、基調講演に英国ライス大学教授で哲学者のティモシー・モートン氏、社会課題を都市空間で表現するオランダ人アーティストのダーン・ローズガールデ氏、日系マーシャル人で気象変動活動家のキャシー・ジェットニル＝キジナー氏が登壇。ICF全体を通して、科学技術が加速的に進展し、かつては夢や希望であった未来が現実化しようとしている現代社会を我々はどう受け止めるべきか、多角的な視点から議論します。



ティモシー・モートン



ダーン・ローズガールデ



キャシー・ジェットニル＝キジナー

【Innovative City Forum 2018 開催概要】

会期:	2018年10月18日(木)～20日(土)
会場:	六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
参加費:	各セッション5,000円(税込)、DAY.3のみ2,000円(税込)
主催:	森記念財団都市戦略研究所、森美術館、アカデミーヒルズ
共催:	国際交流基金アジアセンター、MIT Media Lab
プログラムコミッティ:	竹中平蔵、市川宏雄、南條史生、伊藤穰一
協力:	世界経済フォーラム、国際文化会館、ロフトワーク、黒鳥社
協賛:	森ビル、大林組、富士通、電通、凸版印刷、NEC
詳細・申込:	ICF公式ホームページより申し込み (http://icf.academyhills.com)

森ビルは、MIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボなど、最先端の研究機関や大学、企業と連携し、様々な共同研究や実証実験に取り組んでおります。引き続き、六本木ヒルズをはじめとした“ヒルズ”を舞台に実験や発信を重ねながら、これからの国際都市とライフスタイルのあるべき姿を議論し、またイノベーションを生み出す都市づくりを実践することで、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 プロロー、田部

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

< ICF2018 の注目セッション >

科学技術が加速度的に進展し、かつて夢や希望であった未来が現実化しようとしています。一方で、現在の社会システムや価値観では、受け止めきれない課題も浮かび上がってきています。今年のICFでは、現実化する未来をどう受け止めるべきかという哲学的価値観の議論から、既に変化が起きている現実を踏まえたプラクティカルな議論まで幅広く行います。

■アート&サイエンスセッション：

Innovation for Happiness ～幸福の新たな価値観を求めて～

科学技術の進展は近い将来、地球環境、人間の身体や寿命、社会の構造や倫理、そしてライフスタイル等を大きく変化させ、善悪、正義、美、人生の意義などについての価値観や幸福の意味も大きく変化させることになるでしょう。環境、アート、感動、身体、愛、信用を論点として、これからの「幸福」の新たな価値観について議論します。

■Brainstorming for IR4：

21世紀型テクノロジー社会とライフスタイル

人工知能、IoT、ビッグデータなど、高度情報通信技術の急速な進歩により、経済・産業分野にとどまらず、社会や生活、さらには人々の価値観までもが大きな変化を余儀なくされています。大きな変革期を迎える中で、私たちのライフスタイルはどう変わのでしょうか？仕事、組織、生活、そして経済の視点から議論します。

■都市戦略セッション：

東京のアイデンティティ ～時間の連続性と想像力がもたらす未来の東京らしさ～

グローバル化がますます加速する中、東京が独自に培ってきた歴史的なコンテキストを街づくりに活かしつつ、都市としての独自のアイデンティティを創出し、新しい魅力を創出・発信し続けていくにはどうすればよいのか。都市史や建築、都市開発、素材とデザイン、都市観光などの多角的な視点から議論します。

■国際交流基金アジアセンターセッション：

Innovation for Happiness from ASIA ～見えない価値のみつけかた～

幸せの定義が変化している今、本質的な豊かさに気づくことが未来へのヒントです。次の生き方をどう描くかは、人々の幸福観とつながっています。アジアには可視化されず、ことば以前の価値や魅力がたくさん息づいています。アジアの視点で、いま、ここにある幸せを議論します。

< Innovative City Forum プログラムコミッティ >



竹中平蔵



市川宏雄



南條史生



伊藤穂一

※プログラム、登壇者は変更になる場合があります。最新情報は <http://icf.academyhills.com> をご覧ください。